

## 自己評価シート【上目黒住区センター児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取組や記録等）
<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドライン（27年度改訂版）や目黒区児童館運営指針に明文化された理念に基づき、利用者の最善の利益を優先できるような対応を心がけた運営をしている。自館のパンフレットや月のお知らせへの明文化に向けては現在作成中であり、今後、利用者や地域住民への周知を目指していく。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
事業計画を立てる上で、理念や基本方針に基づいて行事や企画などを行い、事業後の振り返りに活かしている。	理念や基本方針の利用者や地域住民への周知方法をどのように工夫していくか、職員間で考え、館内掲示やパンフレットの改訂を令和6年3月を目途に行っていく。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドラインの中の目的である、18歳未満のすべての子どもについて中高生の利用者は少ないが、事業計画の中には切れ目のない支援については盛り込んでいる。
2-1-(2) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の施設特性を發揮している。 (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	目黒区の児童館の中で、唯一子育てふれあいひろばがあり、妊婦や乳幼児とその保護者が利用できる地域の拠点施設になっている。そのため、子育てが初めての保護者とのつながりができ、その後の子どもたちの居場所として利用が継続されている。友達と一緒に、また、一人でも来館し、好きな遊びをしたり、自由にくつろいだり、職員に見守られる中で安心して過ごしている。
2-1-(3) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) - (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	職員は、常に人権を守る立場であることを自覚し子どもと関わっている。すべての子どもたちに笑顔で接し、一人ひとりの思いや悩みを受け止めている。また、子ども会議の中で「目黒区子ども条例」をわかりやすく伝え、子どもの意見や提案を聞いて、実現できるようにしている。 また、子どもたちがトラブルについて話し合い、お互いが気持ちよく遊べるように子ども自身が啓発ポスターを作成し、注意喚起するために掲示している。
2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
様々な背景を持つ子どもたちが、いつでも安心して利用できる場所であり、遊びを通して、子どもの発達や社会性など心身の成長につなげていけるようにしている。	子ども同士で遊びを工夫したり、アイデアを出したり楽しんでいるが、主体的に企画したり、仲間作りをする姿は少ないので改善に向けて取り組んでいきたい。

## 2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。	
(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの様子について、職員間でタイムリーに情報を共有し、状況や配慮について確認しながら共通した対応をしている。 日々子どもたちとの対話を通して、子どもの気持ちに寄り添いながら関わるようにしている。 乳幼児活動では、対象年齢に応じた活動について提案したり、提供したりしている。
2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	
(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。	
(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	各部屋で遊ぶ中で、子どものつぶやきや思いを聴いて、一緒に考えながら遊びの提供をしたり、道具や材料をそろえたりしている。また、子ども会議で提案された遊具や玩具、アンケートで希望が出された本の購入などを行い、遊びの幅を広げられるようにしている。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】	
(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。	
(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助	

を行っていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>かみメイトフェスティバル（児童館まつり）の時には、子どもたちが自らスタッフになり、やりたいお店のコーナーに集まった様々な学年の子どもたちと、意見を出し合い準備をした。高学年がリーダーとなり、低学年のアイデアを聞きながら制作をすすめたり、役割を決めたり運営できるようにした。</p> <p>たいこクラブ(クラブ活動)では、子どもの要望を受けて、自主練習の期間を設けたり、上級生がお手本になったり、異年齢で教え合う姿がある。</p>
2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<p>遊びを通して、新しい経験や発見ができたり、挑戦したりしていく中で、自己肯定感も高められるように、子どもたちの成長の過程を大切にしている。児童館では、子どもたちが平等で公平に遊びを楽しめるように配慮している。</p>	<p>子どもたちの気になる言動に対し、職員は言葉かけや対応を工夫し、子どもたちがお互いを認め合い、尊重できる仲間関係を築けるように働きかけていく必要がある。</p> <p>人権擁護などの研修に積極的に出かけ、職員が多様な子どもたちとの関わりに対応できるようスキルアップを図っていく。また、子ども対応における実践の職場内OJTも引き続き力を入れていく。</p>

### 2-3 児童館の安全管理

2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
<b>【判断基準】</b>	
<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>事業計画の防犯・防災訓練実施に基づき、毎月の訓練を実施している。地震・火災・防犯など様々な想定をした訓練を利用者も共に行い、安全確保に努めている。また、「災害伝言ダイヤル」や「安心でんしょばと」のシステムを使い、登録の促進と配信練習に努め、緊急時に利用者の保護者へ迅速に正確な情報を配信できるようにしている。</p>
2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
<b>【判断基準】</b>	
<p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でな</p>	

い。

(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>開館前と閉館時の床掃除や遊具の点検整理を毎日行っている。日々の中で、破損や危険箇所を見つけた場合はすぐに対策したり、施設点検の要望に出したり対応を行っている。</p> <p>また、オンラインでの情報セキュリティ研修や危機管理研修に全職員が参加し、食物アレルギーの対応を学んだり、救命救急講習を定期的に受けてたり、いざという時の対応ができる職場作りをしている。</p> <p>児童館隣接の児童遊園内の見守りを行い、危険物や落枝などを点検し安全確認に努め、必要に応じて管轄の所轄へ連絡し敏速な対応を継続している。</p>